

文部科学省

学校魅力化フォーラム

2022. 8. 26

小さな村の大きな挑戦 (ICT・ふるさと学習・新しい学校を創ろう)

雪の降る里、心のふるさと



長野県栄村教育委員会

教育長 下 育郎



- ・長野県最北端
- ・県境の地(新潟県と隣接)



人口1660名程 65才以上の高齢化率54.8%



☑️豪雪地帯

☑️夏は湿度が高く蒸し暑い

☑️標高282.4m

平成23(2011)年3月12日

東日本大震災の翌日未明に起きた長野県北部地震(マグニチュード6.7)最大震度6強

震災以降 人口減少が著しい栄村



栄村の

2010年⇒2020年の10年間の児童・生徒数の変化

145人



63人

減少率 県内 77市町村中 2位
10年間で -57%

村内の教育施設

数々の統廃合を経て今の姿に

北信保育園 26名



栄小学校 46名



栄中学校 14名



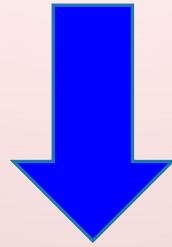
栄小学校秋山分校

休校中
R2年度より



合計86名

義務教育9か年を過ぎると必ず村を出て行く子どもたち
優秀な人材を育て、都市部に送るのではなく



優秀な人材を育て、いつの日か
ふるさとに帰ってくる教育を

栄村教育委員会としての願い

- 1 : 小さな村だからこそできる教育を！**
(小回りがきく少人数教育の良さ・揃えない教育を)
- 2 : 僻地の弱点を強みに変える実践を！**
(生活環境に不便さはあっても、
教育環境に不便さがあってはならない)
- 3 : ふるさと学習の推進を！**
(ふるさと観の育成・CS推進・この村らしさとは)
- 4 : 村民一丸となり、生涯学習につながる学びを！**
(生涯にわたり、学ぶ意欲と生きがいを・
学校教育と生涯学習のつながり)

4つの試み

1 : ICTの活用

2 : ふるさと学習の推進

3 : 個に寄り添うオーダーメイドの教育

4 : 村民一丸となつての学校改革

おまけ : 新たな教育の方向を求めて

1

僻地・山間地校である

弱みを強みに変える

～ICTの活用による他校との遠距離合同の学び～

◇たった1名の分校児童の存在(ICT活用の必要性)



大きく歩み出せた2つの事業とのタイミング

1:GIGAスクール構想 2019年(平31)

2:「中山間地域における新たな学びの創造事業」

(平成30年度～ 長野県教委:協力校との連携した取り組み)



分校(1名) & 本校(同学年4名)

分校(1名) & 協力校(1名)

栄小学校 & 県内他2校

同じ郡内 全小学校 8 校でのビブリオバトル



小規模校の他校にも影響が...

県内の端の学校（僻地・山間地校）をつないだ「すみっこクラブ」での授業



学習のことと
児童会のことと
日常生活や行事

e t c

成果

- 1 : 相手意識の向上 (伝わるよう)
- 2 : 主体性の向上
- 3 : 表現力の向上
- 4 : 固定化した人間関係の打破
- 5 : 距離の克服
(移動が不要・多くの人との関わり)

2

ふるさと学習の推進

ふるさとと学習推進の意味

1 : 子どもたちの「ふるさと観」を育てたい。

⇒ふるさと観とは生きる上で「**芯**」となる部分。

心の支え、心の拠り所、生きる支えや張り合い、いつでも帰れる場所

♪ふるさと♪「志を果たしていつの日にか帰らん〜♪」

2 : ひと・もの・ことに触れ、体を通して学ぶ子に。

⇒五感を通じた学びは生涯体に忘れ得ぬ記憶となる。

人・もの・こととの関わりを通し、感覚を大切にした学びに期待。

この村の存続に関わる大切な教育の柱

いつの日か村に戻ってきてもらえる教育＝ふるさと学習

～教師が作る目の前の子どもたちへのプレゼント～

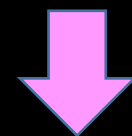
栄村総合ブック 『ふるさと栄』 に込めた願い



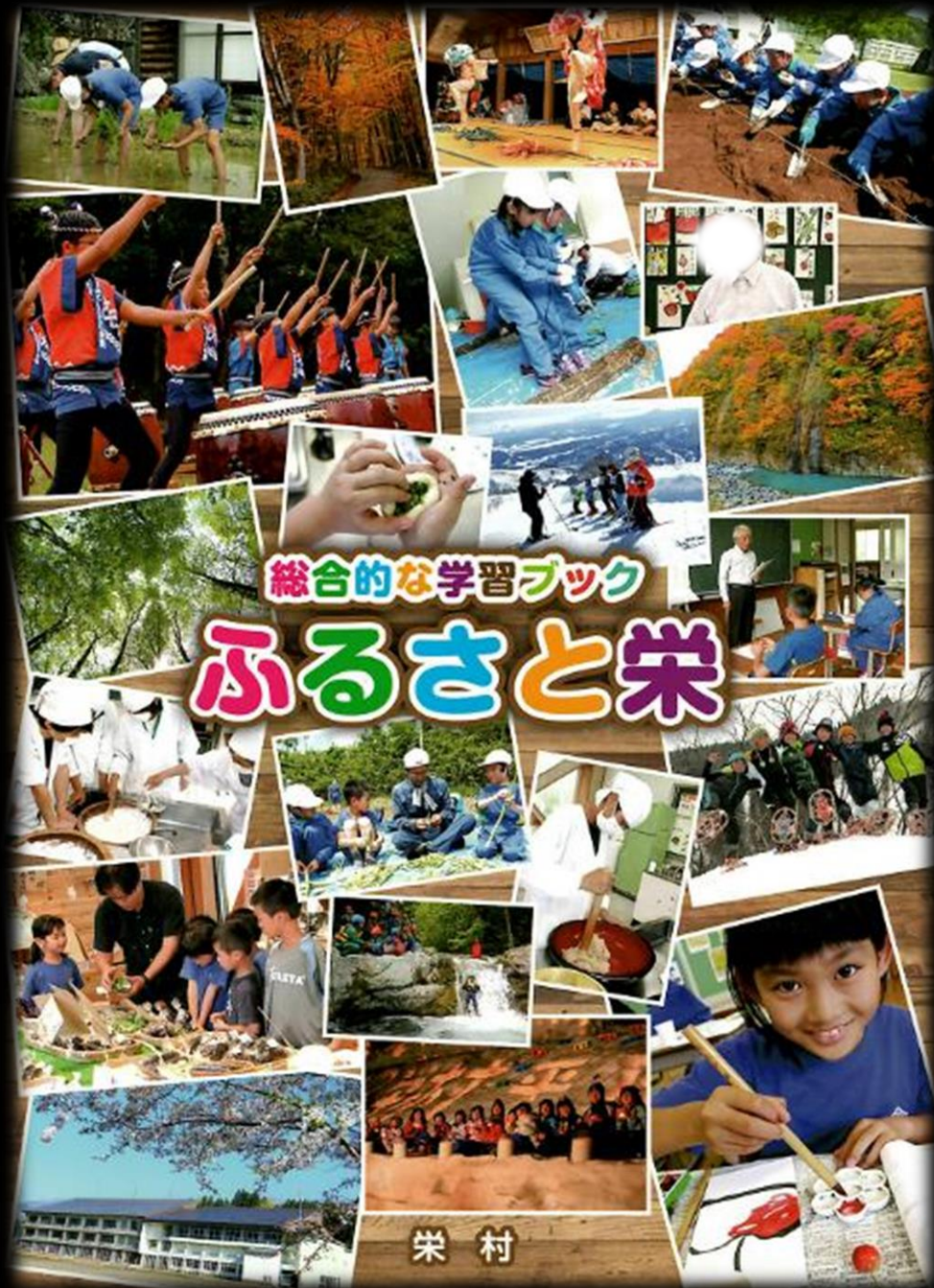
小中の先生方による
総合ブック作り

作成に至った経緯

- ◇ 活動の足がかり
- ◇ 素材紹介
- ◇ 教師の異動の激しさ



- ◆ 小3～中3まで使える素材の紹介本



2 山と栄村の人々の生活

(1) 山で採れる山菜や竹の子

栄村では、山で採れるゼンマイ・タラの芽・ウド等、山菜が豊かで昔から食べられてきました。またネマガリタケもよく採れます。



【栄村で採れる山菜類(左)とゼンマイを茹でて干す村の人(右)】



【ワラビ】

平地から山地まで、日当たりのよい草地や土手、林縁、伐採地などに生えます。



【ココミ】

山地の藪っぽい林床や溪流沿いなどに群生します。湿り気のある場所を好みます。



【栄小学校全校竹の子祭り満足】

(2) 木を切って薪にする

昔から山の木を切って薪にし、暖炉やかまど等の燃料として利用してきました。栄村では雪が多いため、切った木を運ぶ際に雪を利用し、雪ぞりで運びました。



【栄村歴史文化館「こらっせ」にあるそり】



【木をそりで運んでいる様子】

(3) 秋山のマタギ

マタギとは元々、奥羽地方で狩りを仕事にしていた人々のことをいいます。中には数ヶ月、山を渡り歩いて罾をし、旅先で捕まえた獲物を売って生計を立てる旅マタギと呼ばれるマタギもいました。旅マタギの中には、旅先で家庭を持ち、その地に居着いたマタギも多くいました。秋山郷のマタギも旅マタギによって伝わったものです。



【罾猟で捕らえた熊】



〇〇さん(秋山マタギ6代目)のお話

私たちの暮らしには自然とのかかわりがかせません。春になると雪解けとともに、山菜が順番に土の中や木の枝から出てきます。その山菜は、一年間食べられるように乾燥・塩漬け・瓶詰め・冷凍にして保存しておきます。

自然が豊かな山には、いろんな種類の動物たちも住んでいます。その中でもクマは貴重な動物で、肉はたんぱく源として大切な食料です。またクマの胆のうは、病気や怪我に効果のある薬として昔から利用されています。

森には、ブナ・ナラ・カエデ・シラカバなど、様々な広葉樹林があります。木の実は、動物たちのエサになりますし、木は冬のストーブの薪として利用されます。

私たちは自然の恵みをいただきながら生活していますし、動物たちも、山菜や木の実を食べて命をつないでいます。豊かな自然は、人も動物も共存できる大きな力を持った大地です。私たちは、自然と命を守るために、これからも山や森の手入れをし、人と動物が共に暮らせる豊かな環境づくりに努めなくてはなりません。

必ず村民の顔が見えるように

『ふるさと栄』の効果

- 1: 子どもたちが地域の様子を知り、活動へのきっかけに
- 2: 栄村で行われていることに興味・関心を持ち、村の活性化に貢献しようとしている
- 3: 総合的な学習の活動に広がりや深まりが見られる
- 4: 教師にとって地域素材の教材化への助けとなっている

3

個に寄り添う
オーダーメイドの教育

オーダーメイドシートの作成

～小規模校だからできる教育～

- 各教科ごとの支援のあり方ではなく、
あくまでその子の育ちへの支援を
- 全教師が共通認識し、常に一貫した支援を実施
- 中学校へのシートの引き継ぎ

秘

オーダーメイドシート

児童名

本児童に願う育ちの姿

[Blank box for writing the desired growth posture]

一番大切にしたい支援の柱
(本校・分校での一貫した支援の姿)

[Blank box for writing the pillar of support]

本児童の現在の姿

学習の様子

生活の様子

家庭の様子

[Blank box for writing current posture in learning]

[Blank box for writing current posture in life]

[Blank box for writing current posture in family]



小規模校の強みを生かした取り組み

- ・個をしっかりと見るという教師の力量向上
- ・カードの簡素化
- ・常に職員室に置き、誰でも見られる状態で
- ・全職員がカード記入の加除修正可能

『オーダーメイドシート』の成果

- 1: 教職員全員でその子なりの育ちへの支援を共通認識
- 2: 各教科ごとの支援ではなく、どの教科・領域にも通じる育ちへの支援の一貫性
- 3: 中学校にシートを引き継ぐことで、小中一貫した支援を実現

4

「みんなです学校を創ろう！」

～これからの学校のあり方を模索して～

2回目 (42名参加)

これからの本村学校教育のあり方を村民一丸となって探っていきたい！
全住民参加型のワークショップ第2回目のご案内です。



あなた の参加 で創ろう 学校②



栄村教育委員会では、本年度全住民参加型のワークショップ(概ね5人で1グループ)でこれからの本村学校教育のあり方を村民一丸となって探っています。学校に在籍するお子さんが居る・居ないに関わらず今後も多くの皆さんの声を聞かせてください！

小さなお子さんがいるご家庭に託児所を準備しています!!安心してお出かけください。なお2回目からはリモートはなしにします。

第2回目の開催は…

日時:7月7日(木)18:30~20:30
テーマ:「こんな授業にしてほしい」
場所:栄小学校体育館
持ち物:上履き・座布団(必要な方)



事前申し込みはこちら



第1回目は20代から70代まで予想を上回る41名もの皆さんが、笑顔で話し合いにご参加いただきました。学校の未来について語りながらも、教育のこと、子育てのこと、そして村の将来まで大変活発に話をいただき、あっという間のひとときで、今後の話し合いが大変楽しみになりました。ぜひ2回目も多くの皆さんのご参加をお待ちしています。お誘い合わせの上ご参加ください。未来を語ることは、とにかく前向きで楽しく明るい気持ちになれますよ!



お問い合わせ

栄村教育委員会事務局 87-3118

下 育郎教育長

説明に納得してもらおうような教育行政ではなく、村民の願いによる教育の実現を!

1回目 (41名参加)

これからの本村学校教育のあり方を村民一丸となって探っていきたい！
全住民参加型のワークショップのご案内です。



あなた の参加 で創ろう 学校!



栄村教育委員会では昨年度から小中のあり方を検討してきましたが、本年度は全住民参加型のワークショップ(5人で1グループ)でこれからの本村学校教育のあり方を村民一丸となって探っていきたいと思いをします。

あなたの声を今後の学校や村の教育に反映していくチャンスです。学校に在籍するお子さんが居る・居ないに関わらず多くの皆さんの声を聞かせてください!

ぜひ多くのご参加をお願いします。
毎回参加も、途中からの参加もリモート参加もOKです!

第1回目の開催は…

日時:6月9日(木)18:30~20:30
テーマ:「栄村の学校教育スローガンをみんなで作ろう!」
場所:栄小学校体育館
持ち物:上履き・座布団(必要な方)



▲事前申し込みはこちら

▲リモート参加はこちら

学校は村民みんなの大切な教育施設です。この機会に村の学校教育について聞かせてください。6月より月に一度開催されるワークショップにぜひ多くの皆さんのご参加をお待ちしております。**「あなたの参加が村の教育を創る！」**ご近所誘い合ってぜひご参加を!!



お問い合わせ

栄村教育委員会事務局 87-3118

下 育郎教育長

行政主導ではなく、村民参加により、みんなで新たな学校創りをしたい!!

推進計画

6/9

中学校卒業時の姿に向け「スローガン」を創ろう！

7/7

スローガンを創ろう！② こんな授業にしてほしい

8/25

こんな形態の学び(学校)にしたい①

10/6

こんな形態の学び(学校)にしたい②

11/10

具体的な校舎のイメージを考えよう①(改修工事)

2/2

具体的な校舎のイメージを考えよう②(改修工事)

3回目(8/25)

これからの本村学校教育のあり方を村民一丸となって探っていきたい！
全住民参加型のワークショップ第3回目のご案内です。

あなたへの参加で学校を創ろう③

栄村教育委員会では、本年度全住民参加型のワークショップでこれからの本村学校教育のあり方を探っています。学校に在籍するお子さんが居る、居ないに関わらず今後多くの皆さんの声を聞かせてください！



第3回目の開催は…

日時:8月25日(木)18:30~20:30

テーマ:「スローガンを創ろう③」

場所:栄小学校体育館

持ち物:上履き・座布団(必要な方)

小さなお子さんがいるご家庭に託児所を準備しています!!
安心してお出かけくださいね。

今回は大分メンバーが替わりましたが、それでも前回より1名多い42名(30代~80代)の参加をいただき感謝いたします。1回目の話し合いを受け、教育委員会より「栄村への思いを胸に、考え、関わり、芯を創る」というスローガンを提案させていただきました。参加者の皆さんからは、「思い」ではなく「誇り」に、「栄村」を入れる意味は?「創る」の主語は?「考え、関わり」をもっとシンプルに、など様々のご意見をいただきました。それらを更にブラッシュアップするため8グループでワークショップを行いました。

皆さん言葉の吟味に大変慎重になり、一言ひとことへの重みを感じながら再度グループからの提案がなされました。「栄村を愛し芯を育む」や「一緒に学ぼう」「あやろう!えるところはいつでもある!」など貴重な提案をいただきました。今回もスローガン決定には至りませんでした。こうして話し合うことが大切で有意義!様々な意見があり勉強になることが多かった等のご意見をいただきました。第3回目もスローガンの続きからになりますが、今回のみの参加も大歓迎ですので大勢の方のご参加をお待ちしています。(裏面もぜひお読みください)

事前申し込みはこちらから



下 育郎教育長

話し合いを通じて同じ空気感を
感じられることが村の教育の財産

①栄村が今うねりを立てて変わろうとしている。
皆さんの発言から伝わってくる、うれしいですね。

②自分と異なる意見を聴くことはすごく勉強になる。子どもたちもそうなんだなと思う。



様々な意見を聴けて大変勉強になりました。スローガン作りがこのワークショップで最大の課題だと思います。全体スケジュールもあるでしょうが、もう少し時間をかけて作っていいと思います。このように住民が意見を出し合い合意形成できることは、とてもいい機会だと思います。



20才～80才台の参加

これだけの時間をかけてスローガンを立てていく熱意と、子ども達への思いをひしひしと感じました。この会に出る都度、子ども達との関わり方を見直しています。



おまけ

学校教育と生涯学習の融合

全町4年7月6日

地域の皆様

「いっしょに学ぼう授業」のご案内

栄村コミュニティスクール小学校教育部
栄村立栄小学校長

ご挨拶の稿、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は栄村コミュニティスクールの活動並びに栄小学校の教育に多大なご協力を頂戴しておりまして、誠にありがとうございます。さて、この度児童が意欲の増進とかかわりながら、多様な人間関係の中で学ぶことをめざし種別活動を計画いたしました。また、地域の皆様にとっては学校を身近に感じいただき、生涯学習につながる機会と捉えております。つきましては、下記の通りご案内申し上げますので、多くの方にご応募いただければ幸いです。

記

どの授業も初心者大歓迎です。子どもたちといっしょに、楽しく学んでいたがいたらうれしいです。

1 「いっしょに学ぼう授業」について
右の「いっしょに学ぼう授業 一覧」をご覧ください。

2 申し込み
下の申込票に必要事項を記入の上、7月26日（火）までに栄小学校：市川（教頭）までご提出ください。なお、定員が限られますので、先着順とさせていただきます。授業参加が決定の方は、8月9日（火）までに参加確認いたします。



栄村立栄小学校

いっしょに学ぼう授業 申込票

お名前					
ご住所					
電話番号					
お申込みの授業	お申し込みの授業に☑をおつけください。（複数申し込み可）				
	1 英語	2 ソフトグラフィック	3 習字	4 ボッチャ	5 和太鼓

※各校定員は5名です。先着順となります。
※この申込票は栄小学校：市川（教頭）へご提出ください。7月26日（火）までにお願います。

講師・教える↓共に学ぶ

「いっしょに学ぼう」授業 一覧 会場：栄小学校（和太鼓はかたくりホール）

	教科等	いっしょに学ぶ学年 (場所)	講師	内 容	日 時	定員
1	英語 (外国語)	6年 (6年教室)		「世界の夏休み」をミランダ先生のネイティブの発音で学びます。子どもたちと英語でやり取りをし、コミュニケーション活動を楽しみながら学びましょう。基礎から学びます。	全4回 ①8月25日（木）11:45～12:30 ②8月30日（火）10:55～11:40 ③9月 1日（木）11:45～12:30 ④9月 7日（水） 9:45～10:30	5名
2	プログラミング (総合的な学習の時間)	4年 (4年教室)		プログラミングソフト「スクラッチ」を使って、パソコン画面のキャラクターを動かすようにプログラミングをします。初心者大歓迎です。	全3回 ①8月25日（木） 9:45～10:30 ②9月 1日（木） 9:45～10:30 ③9月 9日（金） 9:45～10:30	5名
3	習字 (国語)	3年 (2階オープンスペース)		始筆、終筆、左右の払い等の筆づかいの基本を学びながら、題字「日、人」を書きます。道具は学校で貸し出します。	全2回 ①8月30日（火）「日」10:55～11:40 ②9月 6日（火）「人」10:55～11:40	5名
4	ボッチャ (体育)	5, 6年 (体育館)		ボッチャは、ボールを投げたり当てたり、転がしたりする気軽楽しめるニュースポーツです。運動のできる服装でご参加ください。	全3回 ①8月29日（月）11:45～12:30 ②8月31日（水）14:05～14:50 ③9月 5日（月）11:45～12:30	5名
5	和太鼓 (音楽)	6年 (かたくりホール)		講師の指導により、和太鼓のたたき方の基本を学び、子どもたちとともに曲を演奏してみます。初心者大歓迎です。ばちは貸し出します。	全2回 ①8月25日（木）14:10～14:50 ②9月 8日（木）14:10～14:50 *会場は2回ともかたくりホールです。	5名

一生涯、いつでも誰とでも学べる環境を
生涯学習に近づく学校教育に！

自学共育

栄村らしく・・・
その中へ・・・



ありがとうございました